

## 楽器がなくてもOK！プロと奏でる『音楽・表現』の1日出前講座



本プログラムは、人生を生きる「楽しむ力」を育むことを目的としています。音づくりの楽しさを体験し、「聞くこと」を通して共感力や想像力、ゆたかな発想力をきたえます。

### 1- 音の動物になって、パレードをしよう！

音作りの楽しさ、聞くこと・想像することにより共感します。

対象：幼稚園・小学校低学年

内容（45分～50分）：

- 1.ピアノ演奏を交えながらパレードに参加する動物を知る（サン＝サーンス作曲「動物の謝肉祭」より抜粋）  
→ライオン、ゾウ、カッコウ、小さなたくさんの魚、カンガルーなど
- 2.紹介された動物の音楽をもとに、動物の様子を動きや声・音で表現する
- 3.そのとき、それぞれの動物はどんな気持ちか考えてみる  
→色々な気持ちのバージョンを、動きや声・音で表現する
- 4.お互いの表現を見てみる
- 5.練習後、皆で音のパレード



### 2- 音で物語をつかって、 いろんな人やモノとつながろう！

コミュニケーションとしての音楽づくり。相手の世界を想像したり、共感します。

対象：小学校4年生以上

内容（45分～50分）：

- 1.ボディパーカッションでCall&Responseの練習
- 2.いくつかの曲の例をみんなで聞いて、音楽づくりのヒントを学ぶ
- 3.グループに分かれ、持参したものや体の一部・声を組み合わせて、いくつかのことばを音で表現
- 4.写真を見て、そこで行なわれている会話を想像→グループで、その会話を音で表現

※音づくりのために、各自、楽器ではないが音の出るものなどをご用意ください（普段の生活で使うもの、目にするもの）

以上の他、ご希望に添えるよう  
カスタマイズいたします。

#### 「楽しむ力」を育むとは・・・

人生を生きることを「楽しむ」ために、色々なことを楽しむ経験を積み、苦しい時も困難を楽しむ姿勢をもつてのりこえていけるための道具を身につけていくことです。

・「楽しむ」ことは「楽しいことをすること」とは必ずしも同じではありません。「楽しむ力」をつけるとは、楽しいことにも楽しめる可能性を見出す嗅覚のようなものを身体的に身につけていくことです。（自分の可能性を広げる能力、とも言えます）

・何かを楽しむためには、自分勝手にしたいことをするのではなく、興味関心のある方向へ進んでいく中で、周りの環境や人との帰属意識をはぐくめるところに鍵があります。（共感）

お問合先：  
大阪観光大学観光学研究センター  
社会連携室  
TEL：072-453-8321  
E-MAIL：renkei@tourism.ac.jp



想像力と共感が動き出す！

「共に楽しむ力」育成プロジェクト